

大学教育推進機構 大学教育研究推進室の 研究業績・教育活動

(2019年4月1日～2020年3月31日)

米谷 淳 教授

○ 紀要論文

- ・ 友松史子・米谷淳「神戸 GCP の成果に関する一考察 ―参加学生の面接調査をもとに―」
大学教育研究 第28号 71-86頁 2020.3.31
- ・ 米谷淳・山内乾史「ピアサポートと学習支援 ―1. 北海道大学と東北大学での面接調査
をもとに―」大学教育研究 第28号 87-100頁 2020.3.31

○ その他

- ・ 米谷淳・山内乾史「(連載・世界の大学にみる学習 第37回) 世界の学習支援 メルボル
ン大学の生き残り戦略と学習支援」文部科学省教育通信 477 (2月10日号) 26-27頁
2020.2.10
- ・ 米谷淳・山内乾史「(連載・世界の大学にみる学習 第38回) 世界の学習支援 香港中文
大学のLEOと学科と書院による学習支援」文部科学省教育通信 478 (2月24日号)
20-22頁 2020.2.24

○ 教育業績

<学内における授業の担当>

- ・ 令和元年度前期 1Q 国際文化学研究科 (博士課程前期課程) 「対人行動特殊講義 1」
- ・ 令和元年度前期 2Q 国際文化学研究科 (博士課程前期課程) 「対人行動特殊講義 2」
- ・ 令和元年度前期 国際文化学研究科 (博士課程後期課程) 「対人行動論特別演習」
- ・ 令和元年度前期 国際文化学研究科 (博士課程前期課程) 「研究指導演習 I」
- ・ 令和元年度前期 国際文化学研究科 (博士課程前期課程) 「研究指導演習 III」
- ・ 令和元年度前 1Q,2Q 全学共通教育 「心理学 A」
- ・ 令和元年度後期 国際文化学研究科 (博士課程前期課程) 「感性コミュニケーション論演
習」
- ・ 令和元年度後期 国際文化学研究科 (博士課程前期課程) 「研究指導演習 II」
- ・ 令和元年度後期 国際文化学研究科 (博士課程前期課程) 「研究指導演習 IV」
- ・ 令和元年度後期 3Q,4Q 全学共通教育 「心理学 A」
- ・ 令和元年度後期 4Q 全学共通教育 「環境学入門 B」 (第6回 環境とコミュニケーション)
2020.1.21

<学外における授業の担当>

- ・ 令和元年度前期放送大学兵庫学習センター面接授業 「心理学実験 2」 2019.4.13・14

- ・ 令和元年度後期放送大学兵庫学習センター面接授業「心理学実験 2」2019.10.19・20

○ 学内活動等

- ・ 大学教育推進委員会委員
- ・ 全学教務委員会委員
- ・ 全学教務委員会高大連携企画推進委員会委員長
- ・ 全学評価・FD 委員会委員
- ・ 全学評価・FD 委員会教育・検討 WG 座長
- ・ 国際教養教育委員会委員
- ・ 国際教養教育委員会事業専門委員会委員長
- ・ 情報基盤センター運営委員会委員
- ・ 神戸 GCP 委員会委員
- ・ GSC 委員会委員

○ 社会活動等

- ・ 大学コンソーシアムひょうご神戸研修交流委員会委員
- ・ 兵庫県教育委員会ひょうごグローバル・リーダー育成推進懇話会協議委員
- ・ 「ピアサポートとリーダーシップ訓練」近畿地区学生指導研修会特別講演 2019.8.30
- ・ 川崎病院看護師リーダーシップ研修（入門編）2019.10.30

山内 乾史 教授

○ 編著書

- ・ [編著書] 『教育社会学（新しい教職教育講座 教職教育編③）』ミネルヴァ書房（原清治と共編著）
- ・ [単著] 『「学校教育と社会」ノート—教育社会学への誘い—（第三版）』学文社

○ 編纂書の一部に執筆したもの

- ・ 「学歴社会の基本理念—学歴社会と学力(1)—」原清治・山内乾史編『教育社会学（新しい教職教育講座 教職教育編③）』ミネルヴァ書房、1-18 頁
- ・ 「エリートの近代化—学歴社会と学力(2)—」原清治・山内乾史編『教育社会学（新しい教職教育講座 教職教育編③）』ミネルヴァ書房、19-35 頁
- ・ 「学力論の展開—学歴社会と学力(3)—」原清治・山内乾史編『教育社会学（新しい教職教育講座 教職教育編③）』ミネルヴァ書房、36-50 頁

○ 紀要論文

- ・ 「世界の学習支援—メルボルン大学の生き残り戦略と学習支援（連載—世界の大学に見る学習—第 37 回）」『文部科学教育通信』第 477 号（2020 年 2 月 10 日号）、文部科学

省、26-27 頁（米谷淳と共著）

- ・ 「世界の学習支援 香港中文大学の LEO と学科と書院による学習支援（連載 世界の大学に見る学習 第 38 回）」『文部科学教育通信』第 478 号（2020 年 2 月 24 日号）、文部科学省、20-22 頁（米谷淳と共著）
- ・ 「中国の専攻別評価システムとその課題についての研究—日本への示唆—」『大学教育研究』第 28 号、神戸大学大学教育推進機構、1-9 頁（邵婧怡と共著）
- ・ 「ピアサポートと学習支援—1.北海道大学と東北大学での面接調査をもとに—」『大学教育研究』第 28 号、神戸大学大学教育推進機構、87-100 頁（米谷淳と共著）

○ 書評

- ・ 「山内乾史[編]『才能教育の国際比較』東信堂」日本比較教育学会編『比較教育学研究』第 59 号、東信堂、209 頁

○ 学会発表

- ・ 「平成期日本におけるエリートの高等教育歴—大学院進学と留学経験に注目して—」第 58 回アジア教育研究会（於神戸大学）

○ 学会での司会

- ・ 2019（令和元）年 6 月 8 日 日本比較教育学会第 55 回大会（東京外国語大学）「ヨーロッパ地域（I）」部会（単独）

○ 教育業績

国際教養教育院

- ・ 「学校教育と社会」各クォーター2 コマずつ計 8 コマ
- ・ 「神戸大学の研究最前線 A、B」各クォーター1 コマずつ計 4 コマ
- ・ 高度教養科目「大学教育論」第 3 クォーター1 コマ（米谷淳、近田政博と共同開講）

国際協力研究科

- ・ 「比較教育計画論」後期 1 コマ
- ・ 「教育協力論演習」前期 1 コマ、後期 1 コマ

大学院生の担当

- ・ 国際協力研究科

研究員 1 名、後期課程 5 名、前期課程 8 名、研究生 2 名の指導教員を務める。

令和元年度において前期課程で修士論文の主査 4 本、副査 11 本、後期課程で博士論文の主査 2 本、副査 4 本を担当した。

○ 学内活動等（主要なもの）

- ・ 大学教育推進委員会委員

- ・ 全学教務委員会委員長
- ・ 国際教養教育委員会委員
- ・ 国際教養教育院教務専門委員会委員
- ・ 国際教養教育院学際教育部会長
- ・ 附属図書館研究開発室 室員

○ 学会活動

- ・ 日本比較教育学会常任理事
- ・ 日本教育社会学会理事、教育部長

近田 政博 教授

○ 論文

- ・ 近田政博「2学期クォーター制をどう見直すかー神戸大学内の議論を中心にー」神戸大学
大学教育推進機構編紀要『大学教育研究』第28号、2020年3月、57-70頁

○ 教材作成

- ・ 神戸大学 大学教育推進機構『神戸大学へようこそ！ 令和2年度初年次セミナー共通教材』2020年3月、全52頁（主著者、平成31年度版を改訂）

○ 書評

- ・ 関口洋平『現代ベトナム高等教育の構造－国家の管理と党の領導』日本比較教育学会編『比較教育学研究』第60号、2020年1月31日、194-6頁

○ 新聞記事

- ・ 近田政博「習得スキル 柔軟に活用を」朝日新聞朝刊25面「公立高の教員採用試験 特別選考広がる」、2020年3月9日

○ 学会・研究会での発表（発表登録後に中止されたものを含む）

- ・ 近田政博「パソコン必携化をめぐる合意形成過程とその特質－神戸大学の事例を中心にー」、日本高等教育学会第22回大会、金沢商工会議所、2019年6月8日
- ・ 近田政博「なぜクォーター制を軌道修正するのか」大学教育改革フォーラム in 東海2020ポスター発表、名城大学、2020年3月7日（新型コロナウイルス感染防止のため中止）

○ 外部資金（研究代表者のみ）

- ・ 科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽）「大学の中堅教員に求められる教学マネジメント能力とその形成方法」（平成29～31年度）

○ 学内における授業担当

2020 年度前期

- ・ 基礎教養科目 教育学 B (第 1 クォーター : 1 コマ)
- ・ 総合教養科目「教育と人間形成」(第 2 クォーター : 1 コマ)
- ・ 大学院科目「比較教育発展論」(国際協力研究科 : 1 コマ)
- ・ 大学院演習「教育協力論演習」(国際協力研究科 : 2 コマ連続)

2020 年度後期

- ・ 高度教養科目「大学教育論」(第 3 クォーター : 1 コマ 米谷淳、山内乾史と共同開講)
- ・ 基礎教養科目 教育学 B (第 3 クォーター : 2 コマ)
- ・ 総合教養科目「教育と人間形成」(第 4 クォーター : 2 コマ)
- ・ 大学院演習「教育協力論演習」(国際協力研究科 : 2 コマ連続)

○ 修士論文最終試験

- ・ 副査 9 名

○ 博士論文審査 (修了分のみ)

- ・ 副査 4 名

○ 学内活動等 (主要なもの)

- ・ 全学評価・FD 委員会 委員長
- ・ 全学教務委員会 初年次セミナー検討ワーキンググループ 座長
- ・ 全学教務委員会 ICT 授業検討ワーキンググループ 座長
- ・ 大学教育推進委員会 ラーニングコモンズ専門委員会 委員長
- ・ 大学教育推進機構紀要『大学教育研究』第 28 号 編集幹事
- ・ 戦略情報室 室員
- ・ 医学科カリキュラム委員会 委員
- ・ 附属図書館研究開発室 室員

○ 学内研修講師

- ・ 近田政博「BEEF 活用セミナー」大学教育推進機構、情報基盤センター主催、2019 年 11 月 12 日 (企画立案)
- ・ 近田政博「BEEF を利用する際の留意点」医学部医学科セミナー、2019 年 11 月 25 日

○ 学外講演等

- ・ 近田政博「卒論の書き方講座」愛知大学名古屋キャンパス、2019 年 10 月 11 日
- ・ 近田政博「学習支援者向けライティング支援講座」西南学院大学、2019 年 12 月 14 日
- ・ 近田政博「大学院教育の質保証と的確な評価法」東洋大学板倉キャンパス、2020 年 1 月

20日

- ・ 近田政博「持続可能な学習評価のあり方ー小さなコストで大きな効果を目指すにはー」四天王寺大学、2020年1月28日

○ 学会活動

- ・ 日本比較教育学会 理事
- ・ 一般社団法人大学教育学会 評議員
- ・ 一般社団法人大学教育学会 課題研究検討委員会 委員
- ・ 名古屋大学高等教育研究センター「質保証を担う中核教職員能力開発拠点」運営委員会 委員

○ 社会貢献活動

- ・ 兵庫県立須磨東高等学校 学校評議員
- ・ NPO 法人 世界アマチュアオーケストラ連盟 理事

友松 史子 特命助教

○ 書籍の一部を執筆

- ・ 澤邊潤、木村裕斗、松井克浩編『長期学外学修のデザインと実践ー学生をアクティブにする』東信堂、2019年「第2部 事例3 神戸グローバルチャレンジプログラムと学びの動機付け-Feel the Globe! Change Your World!-」阪野智一、友松史子共同執、2019年5月10日、98-121頁

○ 紀要論文

- ・ 友松史子、米谷淳「神戸 GCP の成果に関する一考察 - 参加学生の面接調査をもとに -」、神戸大学大学教育推進機構『大学教育研究』第28号、2020年3月、71-86頁

○ 事例報告（国内）

- ・ 澤邊潤、河本達毅、○友松史子、田島喜代美、栗飯原匡伸、ラウンドテーブル テーブル16「長期学外学修（ギャップイヤー）による人材育成のデザイン」（発表タイトル「低年次学生を対象とした神戸 GCP の教育成果と課題」）大学教育学会第41回大会（於玉川大学）、2019年6月2日
- ・ 「海外における危機管理について」令和元年度近畿地区学生指導研修会（於神戸大学）、講師、2019年8月30日

○ 教育実績

<学内における授業の担当>

- ・ 令和元年度前期（第2クォーター）総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」

- インターンシップチャレンジコース (モンゴル)
 - サマースクールチャレンジコース (ベトナム・ハノイ貿易大学)
 - フィールドワークチャレンジコース (マレーシア)
 - フィールドワークチャレンジコース (アルメニア)
 - ボランティアチャレンジコース (ネパール)
 - グローバルチャレンジコース A (ベトナム・ホーチミン)
 - グローバルチャレンジコース A (ウガンダ)
 - グローバルチャレンジコース A (韓国)
 - グローバルチャレンジコース A (エストニア)
 - グローバルチャレンジコース B (ベトナム・ホイアン)
 - グローバルチャレンジコース B (フィリピン)
 - グローバルチャレンジコース B (アメリカ)
 - グローバルチャレンジコース B (ドイツ)
 - グローバルチャレンジコース B (ベトナム・ホイアン②)
 - グローバルチャレンジコース B (カンボジア)
- ・ 令和元年度前期 (第 2 クォーター) 高度教養科目「海外インターンシップ実習」
 - インターンシップコース (モンゴル)
 - 学生企画型コース A (ベトナム・トゥイホア)
 - 学生企画型コース B (アルメニア)
- ・ 令和元年度前期 (第 2 クォーター)「海外渡航に際しての危機管理学修」
 - 上記 18 コースと下記コース参加学生を対象に実施
 - UPLB 農学英語コース・理学 UPLB コース
 - 理学 SIIT コース
 - ギャップターム海外協定校派遣コース
- ・ 令和元年度後期 (第 4 クォーター) 総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」
 - インターンシップチャレンジコース (インド)
 - フィールドワークチャレンジコース (タイ)
 - グローバルチャレンジコース A (ニュージーランド)
 - グローバルチャレンジコース A (ケニア・ウガンダ)
- ・ 令和元年度後期 (第 4 クォーター) 高度教養科目「海外インターンシップ実習」
 - 学生企画型コース B (ニュージーランド)
- ・ 令和元年度後期 (第 4 クォーター)「海外渡航に際しての危機管理学修」
 - 上記 4 コースと下記コース参加学生を対象に実施
 - KUPES コース

- ・ 令和元年度後期（第4クォーター）総合科目Ⅰ「アジアへの誘い」（副担当）
 - 授業内容企画、コーディネート
 - 授業担当
 - 第2回目 「ミャンマーの外食産業の変遷と日系企業」
 - 第7回目 「イスラームについて」※国際人間科学部古川助教と共同で授業実施
 - 第8回目 「まとめ」

○ 海外プログラムコース運營業務

<企画立案・現地連絡調整・送り出し担当>

- 「グローバルチャレンジ実習」 インターンシップチャレンジコース（モンゴル）
- 「グローバルチャレンジ実習」 サマースクールチャレンジコース（ベトナム・ハノイ貿易大学）
- 「グローバルチャレンジ実習」 フィールドワークチャレンジコース（マレーシア）
- 「グローバルチャレンジ実習」 フィールドワークチャレンジコース（アルメニア）
- 「グローバルチャレンジ実習」 ボランティアチャレンジコース（ネパール）
- 「グローバルチャレンジ実習」 インターンシップチャレンジコース（インド）
- 「グローバルチャレンジ実習」 フィールドワークチャレンジコース（タイ）
- 「海外インターンシップ実習」 インターンシップコース（モンゴル）

<送り出し担当>

- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース A（ベトナム・ホーチミン）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース A（ウガンダ）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース A（韓国）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース A（エストニア）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース B（ベトナム・ホイアン）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース B（フィリピン）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース B（アメリカ）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース B（ドイツ）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース B（ベトナム・ホイアン②）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース B（カンボジア）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース A（ニュージーランド）
- 「グローバルチャレンジ実習」 グローバルチャレンジコース A（ケニア・ウガンダ）
- 「海外インターンシップ実習」 学生企画型コース A（ベトナム・トゥイホア）
- 「海外インターンシップ実習」 学生企画型コース B（アルメニア）
- 「海外インターンシップ実習」 学生企画型コース B（ニュージーランド）

○ 神戸グローバルチャレンジプログラムコーディネーター業務実績

<プログラム関連イベント企画立案、準備、運営等> (括弧内は実施月)

- ・ 全体説明会 (4月) の企画立案、準備、運営、本プログラム紹介担当
- ・ 英語力向上セミナー (6-7月) の企画立案、開講準備、運営
- ・ 全体報告会 (10月) の企画立案、準備、運営
- ・ FD の企画立案、準備、運営 2月末新型コロナウイルスの影響により実施見送り

<海外渡航に際しての危機管理>

- ・ プログラムの学外学修国の安全情報収集、関係職員への情報発信

<広報関係>

- ・ 本プログラム広報媒体 (年次パンフレット) 制作、HP 更新作業
- ・ ホームカミングデー (10月) 記念式典での神戸 GCP 参加学生による活動成果報告発表指導
- ・ 「50年目の卒業式」(10月) での学生神戸 GCP 参加学生による活動成果報告発表指導

<本プログラム及び学内海外プログラム説明担当>

- ・ 新入生向け全体説明会 (4月)
- ・ 工学部主催本プログラム説明会 (4月)

<海外プログラムに関する学生の個別相談対応> (通年)

<シンポジウムの参加>

- ・ AP 事業テーマIV「長期学外学修プログラム (ギャップイヤー)」合同総括シンポジウム於 新潟 ANA クラウンプラザホテル (11月)
- ・ 宇部工業高等専門学校 AP 事業テーマIV宇部工業高等専門学校 大学教育再生加速プログラム(AP) シンポジウム「真のグローバル人材育成へ舵を切る高等教育」於 宇部 ANA クラウンプラザホテル (12月)

○ 学内活動

- ・ 令和元年度神戸グローバルチャレンジプログラム委員会委員
- ・ 令和元年度『大学教育研究』編集委員会編集委員